

重点施策 10 親しむ視聴覚教育の拡充と推進

【施策方針】

学校教育、社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、視聴覚の円滑な利用促進を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成
- ② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 視聴覚教材の有効利用と指導者の養成

視聴覚ライブラリー教材を利用した「アンコール子ども映画会」を毎月1回、第4土曜日を中心に実施した。人間形成の大切な時期に視聴覚教材を通して、心豊かな人間性を養うことを目指して、親子で楽しい時間の機会を提供した。子どもたちの休日の有効活用や豊かな心を育む情操教育の一助になればと考えている。なお、令和元年度の利用者数は10名であった。

また、幼稚園、保育所、児童クラブ等へ出向いての「出前映画会」を実施し、6施設257人が視聴した。

愛媛県視聴覚教育協会が実施しているホームページ作成学習会、プレゼンテーション作成学習会、教育機器実技研修会(デジタル動画編集、電子黒板)などの研修会参加を広報などで市民に呼びかけ、指導者としての資質向上を図っている。

ビデオテープのDVD化を進め、よりよい画像を残していきたい。

② 視聴覚ライブラリー保有機器・教材の充実

16ミリ映画フィルム167本、ビデオ教材718本、DVD教材61本を保有している。

令和元年度は16ミリフィルムの貸出は無く、ビデオ・DVD等の貸出は22本あった。機器で活用の多いのはパソコン対応型プロジェクターで、単に写すだけでなく、パソコンに接続し研修するケースが増えている。

教材の充実については、厳しい財政事情の中、備品購入費が少なくなってきた。

視聴覚機器は著しい進歩により、ビデオテープからDVD、さらにはブルーレイの時代となってきた。ビデオテープはテープの劣化、機器の生産中止などにより視聴できなくなりかけてきているため、早急に視聴覚ライブラリー保管(著作権の有するもの)の昔の映像をDVD化しなければならないと考えている。機会をとらえ、昔の映像等貴重な八幡浜市の資料を紹介するとともに、今後の活用について学校や公民館等に呼びかけたい。

【事務事業点検評価委員意見】

- 視聴覚教材の有効活用は、子どもたちの情操教育に大変重要である。「アンコール子ども映画会」、「出前映画会」では、利用状況が思うように伸びてないようであるが、辛抱強く広報宣伝をお願いしたい。
- 映像のDVD化、機器の利用は大変重要である。更なる推進をお願いしたい。
- 視聴覚機器の進捗は著しく、新機種への切替え、更新は、なかなか追いつかないのが現状である。映像のDVD化への切替え、市の貴重な資料の紹介、活用等を進めていただきたい。

【自己評価】

- 「アンコールこども映画会」は、視聴覚ライブラリー委員会により、中止が決定した。今後は、子どもたちの情操教育推進のために「出前映画会」を中心に行っていきたい。学校、保育所、児童クラブへ利用促進依頼に直接出向き、広報紙「MANABI」を作成して利用状況を掲載し、広報宣伝を行うことにした。
- 映像のDVD化は、順調に進んでいる。DVD化後の「VHSテープ」の保管・廃棄等について検討していきたい。
- 特別な編集機器がなくても、スマートフォンやタブレットがあれば、個人でも画像や動画の編集ができる時代である。他の部課局と連携をし、貴重なデータの保存ができるようにしていきたい。

※ 「視聴覚教育自己評価 別紙資料」に詳細あり。